

コンテンツ収集戦略

事例報告：日の丸弁当から幕の内弁当へ

三重大学における、紀要、および紀要以外
(グリーン誌論文、学位論文、科研費報告書等)の収集方策



平成19年2月8日-9日
第二回DRFワークショップ@早稲田大学
「機関リポジトリをデザインするー
設計とコンテンツ」

グループ討議テーマ3：コンテンツ収集戦略

三重大学 学術情報部 情報図書館チーム
情報リテラシー担当
杉田いづみ

<http://miuse.mie-u.ac.jp/>

<http://lib.mie-u.ac.jp/>

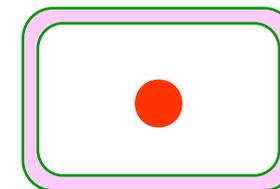
1. 日の丸弁当から幕の内弁当へ

▶ 三重大学機関リポジトリMIUSEのコンテンツ収集戦略スローガン

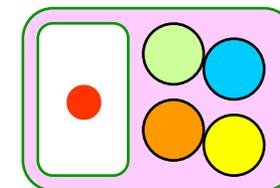
- DSpaceサーバ構築時：カラ箱
- MIUSE仮公開時：紀要オンリー
 - 2006年11月15日現在
約500件、紀要(NIIさん提供)のみ
- MIUSE本公開時：紀要 + α
 - 2007年2月8日現在
 - 紀要も強化しつつ、グリーン誌論文、学位論文、科研費報告書等を平行して準備中
 - 年度内にお披露目予定。



機関リポジトリをお弁当箱に例えると。



とりあえず紀要。
 欠かせないアイテム＝
 ご飯と梅干
 ＝日の丸弁当



美味しいおかずを増やす！
 ＝幕の内弁当
**更に、重箱
 弁当へ！？**

2. 初期コンテンツに紀要

▶ 紀要をIRのコンテンツにするメリット

- 著作権の処理が比較的容易
- 電子データが比較的容易に入手可
- 業務省力化とサービス向上に直結しやすい

IR＝紀要サーバ
という誤解は避
けたい……。

NIIさん研究紀要公開支
援事業で既に公開され
たものの再利用だけ
じゃ寂しい……。

大学で発行しているオリジナル
学術情報＝紀要はIRのコンテ
ンツとして分かりやすい♪

3. 次のターゲットはどうする？ - 1

～脱・紀要onlyリポジトリ～

▶ 学位論文

- 博士論文：印刷公開の義務（cf.「学位規則」の雑則）

- 電子公開の義務化の可能性は？

博論：年4回提出。同意書
フォーマットはこれから検討。

- 修士論文：個人情報、内容、質、保管場所の問題

- 著作権者は誰か
- 医学系特有の課題
- いずれの場合も、リポジトリで「公開」することで新奇性を失うことにはなる

修論：1月末～2月に
提出。
著者＋指導教員の
同意があれば搭載。
教育成果として。

3. 次のターゲットはどうする？ - 2

～脱・紀要onlyリポジトリ～

▶ 科研費報告書

- 「研究成果報告書」提出の義務あり・・・基盤研究系

- 研究支援チーム(科研費担当)の協力を得て

- ※ 報告書提出依頼の前に同意書送付
- ※ 同意した場合は従来3部提出→4部
- ※ 製本不要・なるべく電子ファイルで

研究代表者、分担者全員の同意があれば搭載。

- メタデータはKAKENデータベースから

同意する:しない
=4:1くらいか?

- 新奇性喪失の問題は付いてまわる

- 抜刷合冊の場合、著作権ポリシーの問題は過去分にも付いてまわる

「著者最終稿」を科研費報告書に合冊してくださる先生も!

3. 次のターゲットはどうする？－3 ～脱・紀要onlyリポジトリ～

▶ マルチメディア・データセット (cf. eScience)

- いずれは考える・・・？

▶ 教材

- 背景：
 - OCW(Open Course Ware)の流れ
 - FD(Faculty Development)の流れ
 - e-learningシステムの浸透

教材：
電子ファイルで作
成・流通、インタラク
ティブなものも。

- 問題点：
 - 著作権法
 - ※ 教育の場だけで許される著作物の利用？
第三十五条 学校その他の教育機関
 - ※ 正しい引用をしているか？
第三十二条 引用
 - (内容・・・？)

「著作権ガイドライ
ン」を作成予定。
公開できるものか
ら・・・。

4. 学術論文の流通経路を増やすためにー1 ～脱・紀要onlyリポジリ～

▶ グリーン誌とは？・・・「preprint＝査読前のみ許可」も含まれる

出典：<http://romeo.eprints.org/stats.php>

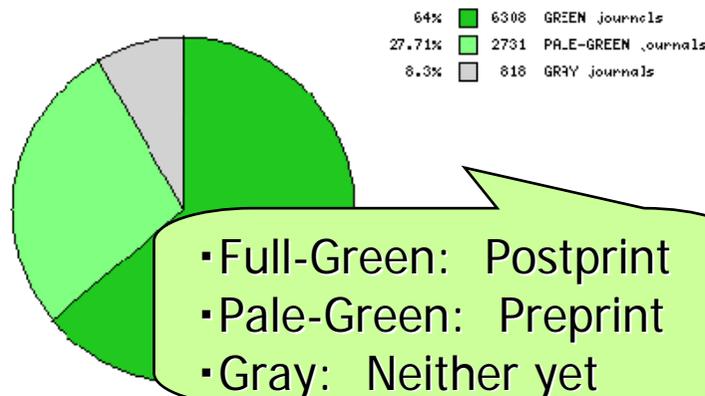
(参照：2007/02/07)

Current Journal Tally: **92% Green!**
 FULL-GREEN = Postprint, PALE-GREEN = Preprint, GRAY = Neither yet
 Total number of publishers registered at ROMEO to date: 229
 Number of publishers processed so far: 199
 Number of journals processed so far: 9861

いわゆる
グリーン誌

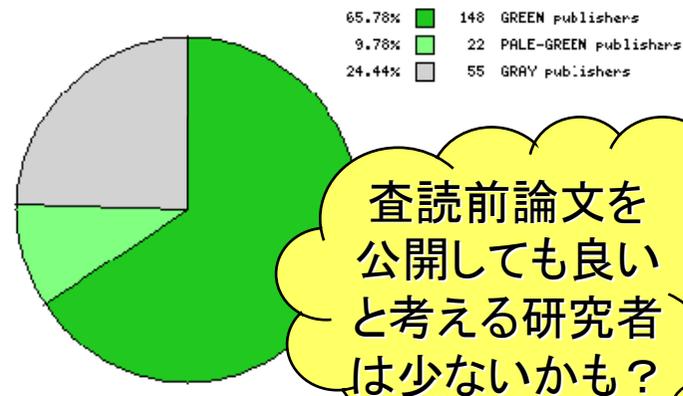
- Yellow journal: preのみ○
- Blue journal: postのみ○
- Green journal: pre&post
- White journal: 両方×
- Gray journal: 不明

Journal Policy Chart



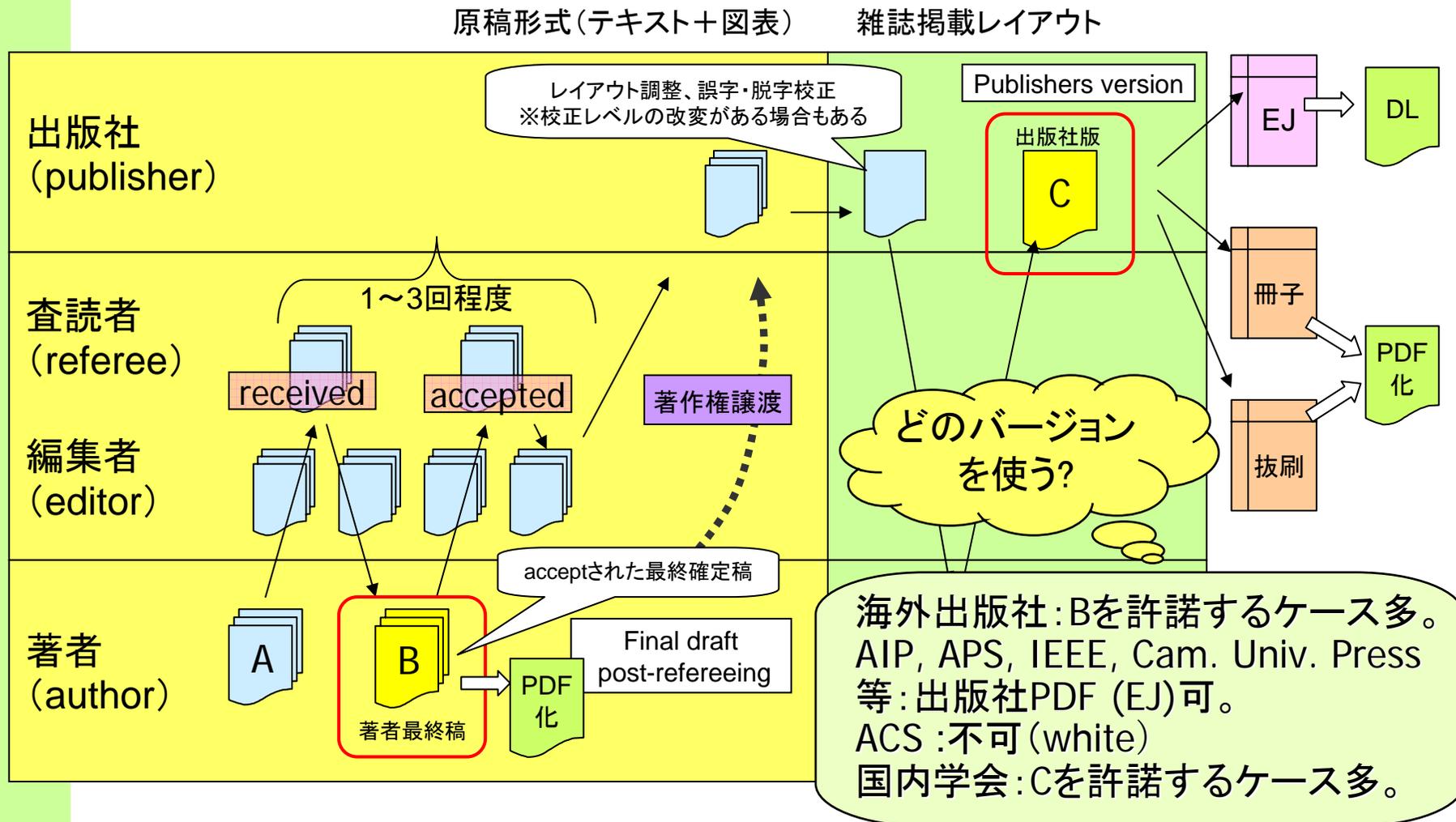
- Full-Green: Postprint
- Pale-Green: Preprint
- Gray: Neither yet

Publisher Policy Chart



査読前論文を
公開しても良い
と考える研究者
は少ないかも？

4. 学術論文の流通経路を増やすためにー2 ～脱・紀要onlyリポジリ～



5. 皆さまとともに考えたい、 いくつかの悩ましい問題

▶ 査読前／査読後？

- 研究分野による文化の違い・イエローの壁

査読前
(preprint)は載
せたくないなあ

▶ 著者版／出版社版？

- 異なる版の流通・引用の問題
- 新たな価格モデル・流通モデル

リポジトリ上で退官
記念論文集を発行
したい！

著者最終稿？
持ってません

▶ いかに種類を増やすか？

- 既に公開済みの本文をリポジトリにも、
という手法はなるべく初期段階のみに

EJ化されていない
古い論文こそリポジトリで
Circulationを高めたい！

▶ メタデータのみは邪道？

- EJ本文(有料／無料)へのリンクはアリかナシか

国際シンポジウムの
記録を入れて、コンテ
ンツに特色を！

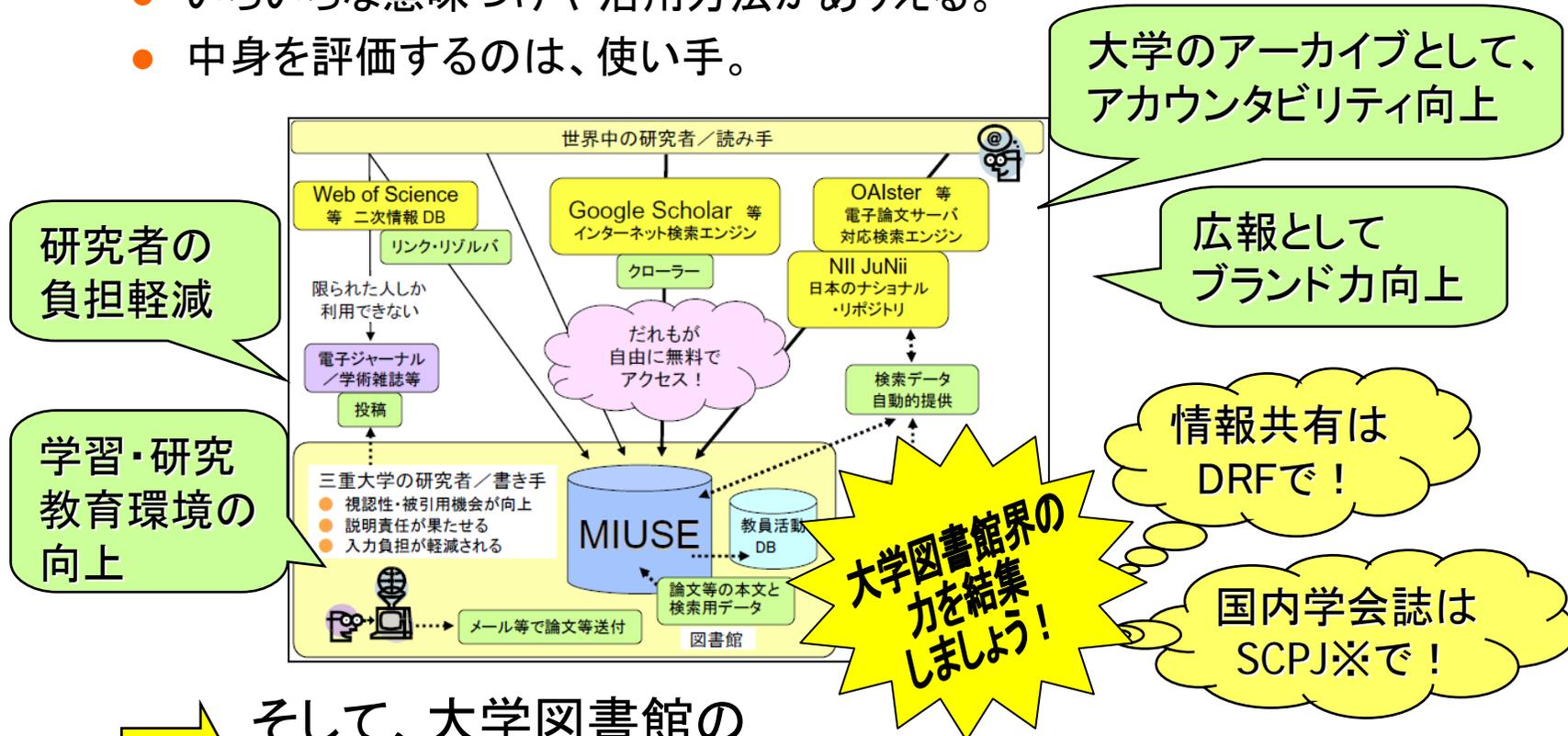
▶ 義務化はできる？

- 例外アリの義務化

6. IR: リポジトリは誰のもの？

▶ 第一義的には研究者のために

- いろいろな意味づけや活用方法がありえる。
- 中身を評価するのは、使い手。



➡ そして、大学図書館の「創造的適応」のために

※国内学協会著作権ポリシーデータベース

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>